日本周産期・新生児医学会 教育・研修委員会主催セミナーのご案内

締切:6月21日(金) 午後3時 ただし先着順となりますのでご注意ください

※3 ページ目の「応募の際の注意事項」を必ずお読みになり、お申込みください。

事前申し込み:要

セミナー番号① 新生児低酸素性虚血性脳症の MRI 読影

～生後 18 か月予後の予測 申込用紙に卒後年数と読影機会をご記載ください

日 時：7月13日(土) 9:50～11:50

会 場：第13会場 会議室 1101・1102 (11F)

座 長：友滝 清一先生

講 師：柴崎 淳先生 (神奈川県立こども医療センター 新生児科)

相田 典子先生 (神奈川県立こども医療センター 放射線科)

募集人数 30名 (受講証あり)

内 容：無料のDICOMビューア「Osirix Lite」を使用して、低酸素性虚血性脳症の頭部MRIを実践形式で読影するセミナーです。講師から解説を行った上で、小グループに分かれてディスカッションしながら、実際の画像を読影します。低酸素性虚血性脳症の頭部MRIの読影のポイントを理解し、生後18ヶ月の予後が予測できるようになることを目標にしています。

セミナー番号② 「最後の手段ではない

～新生児蘇生の様々な場面で役に立つ SGA～

申込用紙に卒後年数をご記載ください

日 時：7月14日(日) 15:00～16:00

会 場：第8会場 会議室 1009 (10F)

座 長：荒堀 仁美先生 (大阪大学大学院医学系研究科 小児科)

講 師：水本 洋先生 (田附興風会医学研究所北野病院 小児科)

募集人数 40名

内 容：新生児蘇生法 (Neonatal Cardio-Pulmonary Resuscitation; NCP) において声門上気道器具 (Supraglottic Airway; SGA) の重要度が上がっています。このハンズオンセミナーではモデル人形を用いて SGA の手技演習を行います。マスクを用いた人工呼吸に比較して習得が容易で有効であることを実感していただきたいと思います。また SGA が役に立つ7つのシナリオを通じて、より現場で実践できることを実感していただきたいと思います。

セミナー番号③ 今日から使える医療統計 応用編

「臨床研究における回帰分析」

日 時：7月15日(月) 8:30～10:30

会 場：第8会場 会議室 1009 (10F)

座 長：諫山 哲哉先生

講 師：新谷 歩先生 (大阪公立大学 統計学教授)

募集人数 40名（受講証あり）

内 容：観察研究のデータなど背景の揃わないデータの解析を無料ソフト「EZR」を用いて自身のパソコンを持参し実践形式で行うセミナーです。

セミナー番号④「急速遂娩を極める～経会陰超音波と鉗子の合わせ技～」

申込用紙に鉗子分娩経験有無等ご記載ください

日 時：7月15日(月) 13:10～15:10

会 場：第8会場 会議室1009 (10F)

座 長：宮越 敬先生
藤田 恭之先生

講 師：永松 健先生（国際医療福祉大学成田病院 産婦人科）

竹田 純先生（順天堂大学医学部附属順天堂医院 産婦人科）

募集人数 20名（受講証あり）

内 容：内診による分娩進行（児頭下降度・回旋）の評価は医療者の習熟度に依存し、検査者間誤差が大きいことが課題です。この欠点を克服すべく考案された経会陰超音波は分娩進行の客観的評価法として有用であり、近年注目されております。また、鉗子は吸引より牽引力が強いものの母児合併症予防のためには適切な手技が求められます。本ハンズオンセミナーでは経会陰超音波および鉗子の基礎知識とそのスキルをすべて伝授します。ぜひお越しください。

事前申し込み:不要 当日会場へ直接お越しください

⑤ どうする、新生児の不整脈 2024

日 時：7月14日(日) 9:00～11:00

会 場：第7会場 会議室1202 (12F)

座 長：上野 健太郎先生

講 師：吉田 葉子先生（大阪市立総合医療センター 小児不整脈科）

収容可能人数 約190名

内 容：新生児には、良性のものから生命を脅かすものまでさまざまな不整脈が発症します。評価、急性期症状への対応、長期的な管理は、不整脈を正しく診断することにかかっています。本ワークショップでは、テレメトリーモニターと12誘導心電図で不整脈を診断し、初期対応ができるようになることを目標としています。

⑥ NICUにおける腸瘻管理と合併症対策

日 時：7月14日(日) 9:00～11:00

会 場：第9会場 会議室1008 (10F)

座 長：大野 通暢先生（さいたま市立病院 小児外科）

シンポジスト：望月 響子先生（神奈川県立こども医療センター外科）

高見澤 滋先生（長野県立こども病院小児外科）

東間 未来先生（茨城県立こども病院小児外科）

松尾 規佐先生（大阪母子医療センター看護部）

中村 雅恵先生（静岡県立こども病院看護部）

収容可能人数 約150名

内 容：本セミナーは2つのテーマをシンポジウム形式で行います。

（テーマ1）低出生（特に超低出生）体重児の腸瘻はその造設手術手技、合併症、管理（栄養管理も含む）上まだまだ課題が多い。本セミナーでは、NICUにおける低出生体

重児の腸瘻管理ケアについて現状の課題と工夫などについて共有する場にしたい。

(テーマ2) NICU における栄養管理のうえで、経静脈栄養の比率をいかに抑えて管理できるかは肝機能障害の予防や感染のリスクを減らす上で重要であり、特に高位の空腸瘻などでは、下部の腸管に便注入を行うことが有効なことがある。各施設の方法や工夫などを共有する場にしたい。

※応募の際の注意事項(必ずお読みください)

・①～④につきましては、原則として申し込み順になりますが、当学会会員でセミナー受講歴のない方を優先させていただきます。

・お一人3つまで受講希望セミナーを記載いただけます。

・セミナー番号の記入忘れ、申込者情報の記載漏れは受け付けできません(受付不可であった旨、事務局から連絡はいたしません)。

・FAX またはメールの受信確認はご遠慮ください。申込書の拝受メールは送信しません。

・セミナー直前・直後にご発表や参加されたいセッションのある方はご応募をご遠慮ください。また、セミナー中の入退席もご遠慮ください。

・事務局からは受講決定時・事前案内(複数回)をお送りします。

申込用紙には会員情報にご登録のアドレスを記載いただきますようお願いいたします。メール不着による責任は負いません。jspm.org のメールを受信できるようご自身でメールの設定をしてください。事務局からのメールが来ない場合は、迷惑メールフォルダ等ご確認ください。

お申込み後、事務局からの連絡がない場合は7月5日(金)までに必ずお問い合わせください。

・①ならびに④のセミナーは一部の個人情報(お名前・領域・卒後年数や医師年数・ご所属先等)を、講師・チューター・インストラクターへお伝えします。ご了承いただける方のみお申込みください。